

本単元で育む主な情報活用能力

G-STEP4, F-STEP4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

古人に倣い、表現を工夫して描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・本やメディアを適切に選択し、課題を解決しようとする。
- ・考えの根拠として、さまざまな資料、データから読みとった複数の情報を活用し、自分の意見を表現する。

単元における学習の展開（全5時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆について（現代文・古文） ・「枕草子」第一段 音読・内容理解 ・作者である清少納言について知ろう
第2次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の他の章段を読もう「九月ばかり」 清少納言のものの捉え方や感じ方を理解する
第3次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分流『枕草子』を書こう」（☆）（本時） ・歳時記や和の行事絵本などを参考に、視野を広げ、季節を感じるものをメモする。 ・選んだ題材について、読む人に伝わるように、表現を工夫して描写する。

本時のねらい

- ・歳時記や和の行事を扱った本を参考に、季節を感じるものを挙げ、読む人に様子や状況が伝わるように、表現を工夫して書くことができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	<p>1. 「枕草子」第一段の構成の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便覧で季節のことはを見て、イメージをふくらませる。 ・図書を活用して、さらに視野を広げて、季節を感じるものを選び、表現するという本時の学習活動について知る。 ・PowerPoint を用いて活動の説明・本の紹介・図書を活用する目的を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに活動ができるように、図書の活用方法をイメージできるようにする。 ・作品を学校のモデルとして展示して共有し、来年度の参考になることを示す。
展開 (40分)	<p>2. 「自分流『枕草子』を書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳時記や和の行事絵本などを参考に、視野を広げ、季節を感じるものをメモする。必要に応じて調べるときにタブレットを用いる。 ・選んだ題材について、読む人に伝わるように、表現を工夫して描写する。 ・画像や写真から感じたことを言葉で表現する。 	<p>図書活用によってイメージがふくらみ、描写するときに、資料を見ながら表現できるようにする。活動が進まない生徒には、本の具体的な箇所を示し、情報の掲載箇所や活用例を必要に応じて与える。</p>
まとめ (5分)	<p>3. ふりかえり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書やタブレットを活用することで自分の持っていたイメージが広がったかどうか、他の人のどんなところが参考になったか、考えさせる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・自身の考えや感じ方を広げるツールとして図書を活用し、調べて気になった語句を複数の本やインターネットを活用して理解を深めるなど、生徒たちの状況に合わせた授業の構成とした。
- ・情報収集や交流の場面では、できるだけ多くの生徒と交流し、発想を広げることが大切にした。
- ・五感を使って表現すること、情景が目には浮かぶような表現にすることを目標に、生徒たちは、本やインターネットから季節を表す言葉を集め、どのように表現したら伝わるかを考えながら創作に取り組んでいた。また、教科書の古文を何度も読み返したり、便覧で内容を確認したりする姿もあり、これまでの学びを確かめる機会にもなった。



図書やタブレットを活用して言葉を探し、便覧で枕草子序段の内容を確認する。交流しながら創作メモをつくる生徒もいた。